

⑥総合的な学習の活動(100～120分)

時間	学習活動	留意点
8 2 5 20	<p>コース1</p> <p>学習課題 戦国城下町「岐阜」を調べよう</p> <p>1 博物館前からのコースに従って次のような、特定の職業の人が集まったことからついたと思われる町名をさがしながら町並みを散策する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木挽町…材木を板や角材に加工する仕事 ・材木町…長良川の舟運によって運ばれた材木を扱う仕事(建築資材) ・魚屋町…長良川の魚(食料品)を扱う仕事 ・鞆屋町…弓矢(武器)を生産する仕事 <p>2 矢島町周辺の寺院を見学し、聞き取り調査を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寺院が成立した時代を調べる。 ・戦のときには、兵が集結する場所として寺院が建立されたことをつかむ。 <p>3 梶川掘に沿って歩き、堀や土塁、寺院など戦国城下町「岐阜」を守る備えがあったことをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梶川掘や土塁を境にして、内側(内町)が信長に仕える人々が住み、外側(外町)に自由な商人が住んでいたことをつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町名と寺の位置、道筋の入った校区地図を用意する。 ・戦国城下町を支えた産業を町名から見つける。 ・法華寺、蓮生寺、長照寺などを見学する。 ・寺院には事前に依頼が必要 ・寺院が、防衛の拠点になっていたことを知る。
10	<p>コース2</p> <p>学習課題 信長と岐阜との結びつきを調べよう。</p> <p>1 岐阜城の再現図を想起し、信長の居館跡を見学する。</p> <p>2 七曲がり口から山頂まで登り、展望台から岐阜の町や濃尾平野を見渡す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオラマを想起し、砦が尾根伝いに造られていたことを確かめる。 ・東の山、北の長良川、南の土塁と堀で守りを固め、生産力の高い濃尾平野の経済力によって、信長が天下布武に乗り出したことに思いをはせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・山麓の館で信長は日常生活と政治を行っていたことをつかむ。 ・岐阜城でも、信長が政務を執っていたことをつかむ。

※シルバーボランティアに岐阜公園内や周辺地域の説明を依頼することができる。(有料)

※春の遠足などでこのコースを活用することも考えられる。